

毎週日曜発行  
2022 1/16

こども新聞  
週刊がほピョンプレス

河北新報社 TEL.022-211-1111(月曜から金曜)

ニュース



# 北京冬季五輪の見どころは？

北京冬季五輪が2月4日に開幕するよ。真っ白

な氷と雪の舞台で、スキー、スケートなど史上最多の109種目が行われるんだ。見どころはどこかな。

皆さんが最も注目しているのは、フィギュアス



フィギュアスケートの全日本選手権男子で優勝した羽生選手のフリ。北京冬季五輪でフィギュア男子94年ぶりの3連覇に挑む。昨年12月26日、さいたまスーパーアリーナ

きょうのテーマ

みんな思い出

みんな動こう

みんな知りたい

みんな守ろう

みんなトモダチ

# ユヅが挑むV3と大技

スケート男子の羽生結弦選手(宮城・東北高出身)ではないでしょうか。2014年のソチ(ロシア)、18年の平昌(韓国)に続く、3大会連続の金メダルに挑みます。鍵を握りそうなのが、4回転ジャンプの出来栄です。羽生選手はフリーに、世界で誰も成功していない大技「クワッドアクセル」(4回転半ジャンプ)に加え、2種類の4回転を組み込む予定です。ライバルは世界選手権3連覇中のネーサン・チェン選手(アメリカ)。



北京大会を取材する河北新報社スポーツ部の狭間優作記者は「羽生選手はクワッドアクセルを、故郷の仙台で練習しました。新型コロナウイルスの流行でコーチが日本に来られず、たった一人で毎日厳しい練習を重ねたのです。その努力が報われ、ぜひ本番で素晴らしい決めて、五輪3連覇を

成し遂げてほしい」と期待します。他の種目では、ノルディックスキー・ジャンプ男子ラージヒルの小林陵侑選手(岩手・盛岡中央高出身)、スピードスケート女子1500メートルの高木美帆選手がそれぞれ国際大会を制し、金メダルの有力候補です。



北京大会では、男女平等の観点から多くの混合種目加わりました。ノルディックスキー・ジャンプのほか、スノーボードクロスとフリースタイルスキーエアリアルで混合団体、スケートではシヨートトラック混合リレーが採用されました。日本の冬季五輪メダリストで最年少は、ソチのスノーボード男子ハーフパイプで銀だった平野歩夢選手の15歳。皆さんと同世代の選手の活躍にも注目です。

今週の注目ニュース  
◇17日(月) 河北新報創刊125周年  
1897年のこの日、河北新報が一方健治郎により創刊されたよ。「東北振興(東北の発展)」「不羈独立(誰にも縛られず自分の力で道を切り開く)」を社是(目標)に掲げ、これからも新聞を出し続けるよ。

きょうの紙面  
2面 イマ★どきりポート  
3面 3分チャレンジ  
4・5面 わが校わがまち スクール通信  
6面 聞いて学べる こども英語  
7面 投稿特集  
8面 子育て・教育相談コーナー